

単元構想シート

〇〇中学校

第1学年

国語科

単元名「

内容について解釈したことを、クラスの仲間にななげストーリーで伝えよう」

全8時間

| | | | |
|------------------------------|--|---|---|
| <p>単元目標 (育成したい資質・能力)</p> | <p>○比較や分類、関係付けの仕方などの情報の整理の仕方についての理解を深め、それらを使うことができる。 [知識及び技能](2)イ</p> <p>○目的に応じて、場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈することができる。 [思考力、判断力、表現力等]C(1)ウ</p> <p>○言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」</p> | <p>二つの側面</p> <p>A…主に文章や図、グラフから読み解き理解する力 B…主に他者とのやりとりから読み解き理解する力</p> | <p>三つのプロセス</p> <p>①発見・蓄積 必要な情報を確かに取り出す</p> <p>②分析・整理 情報を比較し、関連付けて整理する</p> <p>③再構築 自分なりに解決し、知識を再構築する</p> |
|------------------------------|--|---|---|

| 単元の流れ ○主な学習活動 □指導上の留意点 | 「読み解く力」を育成するための手立て | 「読み解く力」の育成に重点をおいた目指す児童生徒の姿 | |
|--|--|--|---|
| | | A：文章・グラフ・図から | B：やりとりから |
| <p>〈第一次〉</p> <p>①○「アナザーストーリー」について知る。</p> <p>○以前の学習を振り返り、今回の単元での個人目標について考える。</p> <p>□これまでの学習で生かせることを、振り返らせる。</p> <p>○指導者が作った『星の花が降るころに』のアナザーストーリー(例文)を読んで、「続編」とは決定的に違う□「アナザーストーリーとして必要なポイント」を考える。</p> <p>○「少年の日の思い出」を通読し、小説の内容を捉える。</p> <p>○登場人物の言動について、疑問点を探る。</p> <p>②○登場人物に着目し、この物語が誰の視点で語られているかを考える。</p> <p>□「僕」の視点で語られていることに気付かせ、「僕」以外の登場人物からの視点に気付かせる。</p> <p>○どのような「アナザーストーリー」をつくりたいか考える。</p> <p>□アナザーストーリーを書く時の条件を明示し、ゴールのイメージをもたせる。(どの人物の視点で書くかを選ばせる。)</p> <p>③○アナザーストーリーを書くために、何が必要かを考え、学習計画を立てる。</p> <p>□「続編」の時の「物語を書くポイント」も復習する。</p> <p>○内容を解釈するための「問い」を共有する。</p> <p>□通読したときに疑問に思ったことを、この後解釈していく「問い」として共有する。</p> <p>〈第二次〉</p> <p>④○アナザーストーリーをつくるために必要な内容を、まず自分で解釈し、整理する。</p> <p>○解釈した内容を、「違う人物」を選んだ者と交流して確認し、情報を整理する。</p> <p>□読み取った出来事を中心に交流させる。</p> <p>□解釈した内容と、なぜそう解釈したのかという根拠を視点として交流させる。</p> <p>⑤○解釈した内容を、「同じ人物」を選んだ者と交流して確認し、情報を整理する。</p> <p>□解釈した内容と、なぜそう解釈したのかという根拠を視点として交流させる</p> <p>□共有した「問い」について説明し、みんなが納得できる解釈にできるよう意識させる。</p> <p>○再度「アナザーストーリー」をつくるために必要な内容を解釈したり、集めた情報を整理したりする。</p> <p>〈第三次〉</p> <p>⑥○整理した情報を生かして、「アナザーストーリー」の下書きをする。</p> <p>□「選んだ人物」の視点で書くことなど、書く時の条件を確認する。</p> <p>⑦○下書きを読み合い、アドバイスや質問をし合う。</p> <p>□タブレット端末を使い、できるだけ多くの人の下書きに触れさせる。</p> <p>□他者の下書きを自分の下書きと比べながら読ませ、自分の解釈と他者の解釈の相違点に気付かせる。</p> <p>*もらったアドバイスをもとに、推敲し、アナザーストーリーの清書をする。【家庭学習】</p> <p>*清書した作品を読み合う。【紙面交流】</p> <p>⑧○学習内容を振り返り、この単元で学んだことをまとめる。</p> <p>□身に付いた力を認識させ、次の学習の意欲につなげる。</p> | <p>(1) 目的意識をもつ工夫</p> <p>・単元の始まりに、アナザーストーリーを書くために「どのような学習が必要か」を生徒とともに確認し、学習計画を立てる。</p> <p>(2) 分析・比較する場の設定</p> <p>・例文(「星の花が降るころに」のアナザーストーリー)を読んで、目的に応じて解釈することの必要性に気付かせる。</p> <p>・選んだ登場人物に従ってグループを組み換え、2回の交流をすることで、解釈の内容をより広めたり深めたりできるようにする。</p> <p>・他者の下書きを自分の下書きと比べながら読むことで、解釈の相違点に気付く、自分の「アナザーストーリー」に足りないものを理解し、再度、本文に向き合わせる。</p> <p>(3) 物語を完成させる。</p> <p>・交流を生かして、解釈をより一層確かなものとし、「アナザーストーリー」を完成させる。</p> | <p>①文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す</p> <p>・アナザーストーリーをつくるために必要な情報を考え、本文から取り出している。</p> <p>②様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする</p> <p>・取り出した情報を、目的に応じて、分析・整理している。</p> <p>③解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする</p> <p>・整理した情報やもらったアドバイスを生かして、内容を解釈し直し、それを踏まえてアナザーストーリーをつくり、伝えている。</p> | <p>①相手の言葉、しぐさ、表情をもとに相手の思いを感じ取る</p> <p>・相手の思いや伝えようとしていることを理解している。</p> <p>②相手の思いや意図を自分の考えや経験と比較しながら整理する</p> <p>・作品を読み比べ、文章の解釈の共通点や相違点に気付く、自分と他者の解釈を比較している。</p> <p>③やりとりを通して、相手の思いや意図を踏まえながら、自分の考えを確かなものにし、創造したりする</p> <p>・作品を読み比べることで、さまざまな意味付けに気付く、内容の解釈をより一層確かなものにしていく。</p> |